

知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム in真岡工業高 開催結果

| | | |
|---|-----|---|
| 1 | 日時 | 令和4(2022)年8月8日(月) 午後1時30分～3時01分 |
| 2 | 場所 | オンライン開催 真岡工業高等学校 総合実習室2階 県庁 特別会議室1 |
| 3 | 出席者 | 参加者37名(男性28名、女性9名) 県側出席者：知事、教育長、高校教育課長、政策調整監 |
| 4 | 発言数 | 12件 |



主な発言事項

| No. | 発言事項 | 関係部局 |
|-----|-------------------------|---------------|
| 1 | 知事になった理由について | — |
| 2 | 真岡工業高校生として心がけるべきこと等について | 教育委員会 |
| 3 | 県内の交通施策について | 県土整備部 |
| 4 | 農業資材高騰への対策について | 農政部 |
| 5 | 県内の人口減少対策について | 総合政策部、保健福祉部 |
| 6 | SDGsの取組について | 総合政策部 |
| 7 | 県の観光施策及び魅力度ランキングについて | 産業労働観光部、総合政策部 |
| 8 | 新型コロナウイルス感染症対策について | 保健福祉部 |
| 9 | 技能検定について | 産業労働観光部 |
| 10 | 芳賀地域の産業振興について | 産業労働観光部 |
| 11 | 栃木県の産業技術について | 産業労働観光部 |
| 12 | 今の高校生にしてほしいことについて | — |

知事と語ろう！とちぎ元氣フォーラム in真岡工業高 発言及び回答要旨

| | | | |
|----|------|-----|-------------------|
| 区分 | 高校生版 | 開催日 | 令和4(2022)年8月8日(月) |
|----|------|-----|-------------------|

| No. | 発言事項 | 発言者 | 発言要旨 | 県回答要旨 | 関係課名 |
|-----|-------------------------|------------|--|---|-------------------------------------|
| 1 | 知事になった理由について | 機械科 1年生 | なぜ知事は工業関係の道に進まず、政治の仕事に就いたのですか。 知事になった理由を教えてください。 なぜ教育長は県庁に勤めることになったのですか。 | 回答者：知事 宇都宮工業高校の建築科で学び、建築の技師として栃木県庁に採用され、9年間、建物建設時の図面審査、中間検査、完了検査及び県営住宅建設工事の現場監督等を行っていた。 県庁で仕事をしている中で、教育、福祉、環境、林業、商工業、農業など建築以外の様々な分野の仕事が県庁にあることを知った。 建築の分野で人生を全うするのの一つの生き方だが、幅広く色々な分野で頑張りたいと思うようになり、県庁で9年目の頃から、政治家であればすべての分野に関われるのではないかと目的が少しずつ変わってきた。 選挙があるので政治家になれるかは分からないが、政治家になれば、すべての分野でオールマイティに力を発揮することが出来るかもしれないと考え、県庁を退職し、政治の道を目指したというのが知事になった理由である。 教育長 大学卒業時、民間企業も含め就職先を考え、地元に戻って県庁職員として仕事することも面白いと思った。県庁に入庁している先輩から、県は福祉・土木・産業など色々な仕事があり、数年ごとに異動し、利益重視ではない様々な経験ができて面白いという話を聞いたことがきっかけであった。 | - |
| 2 | 真岡工業高校生として心がけるべきこと等について | 建築科 1年生 | 創立60周年の本校の印象を教えてください。 また、真岡工業で学んだ知識や身につけた技術を、私たちは社会に出て発揮できるのか心配です。 栃木県の工業を支えていく私たちが今、心得ておけばいいことはなんでしょうか。 | 回答者：知事 真岡工業高校は、芳賀地区における唯一の工業高校であり、地元の工業団地はもとより、県内産業界に対する貢献度は非常に大きい。 工業団地の関係者等からは、地元の工業高校生にもっと県内のものづくりの現場に来てほしいという声を数多く聞いているので、今後も先輩たちに続き、ものづくり県とちぎを支えてもらうとともに、70周年、80周年に向けて良い伝統を後輩につなげてほしい。 学校は、ものづくりのための基本的な知識や技術を実践的・体験的に習得する場である。特に、工業の社会的意義や役割、人と技術の関わり、製品が社会に与える影響など多角的な視野をもつことが重要であり、皆さんが普段学んでいることが社会の中でどのように活かされているかを意識してほしい。 真岡工業高校では、学んだ技術を活かした生活での不便さの改善策を募集し、改善意識の向上を目指した「カイゼン提案コンテスト」や、身に付けた工業の知識や技術を活かして、快適な暮らしのお手伝いをする「真心工房（まごころこうぼう）」など、校内外での積極的なボランティア活動を行っているという話を聞いている。そうした活動こそが社会を知ることであり、社会とつながることそのものである。そのような専門性を活かした活動に今後とも積極的に取り組んでほしい。 卒業後、学んだことを活かし仕事を体験する中で、もっと違うこともやってみたいと思うことがあるかもしれないが、専門性を活かしつつ、自分の思いも大事にし、社会に貢献できることがあればぜひ挑戦し続けてほしい。 | 教育委員会 高校教育課 (指導担当) TEL3382 |

| | | | | | |
|---|----------------|------------|--|--|---|
| 3 | 県内の交通施策について | 機械科 2年生 | <p>栃木県は自動車の普及率が全都道府県の中でもトップクラスですが、田舎の方は道路の整備が不十分な部分が多いと思います。知事はこの現状をどのように考えていますか。</p> <p>また、県全体の均衡ある整備・発展及び交通安全のため、バス・鉄道等公共交通機関、L R Tを含め、課題と今後の展望を教えてください。</p> | <p>回答者：知事</p> <p>県では、とちぎ未来創造プランに掲げる将来像の実現に向けた「道路・交通」の分野別計画として、「とちぎの道路・交通ビジョン2021」を令和3(2021)年6月に策定した。</p> <p>本ビジョンに基づき、地方部も含めた県内全域において、日常の暮らしや産業・観光、災害に強い地域づくり等を支える道路ネットワークの充実・強化に向けた施策を推進しているところである。</p> <p>また、公共交通については、高齢者をはじめ地域住民の移動手段の確保や運転手の不足、赤字民間バスの維持など、対応すべき課題が多いことから、県では民間事業者や市町が運行する路線バスなどへの支援に加え、芳賀・宇都宮L R T整備事業など基幹交通への支援、更には無人自動運転バスの実証実験等、現在様々な取り組みを行っているところである。</p> <p>今後とも、「誰もが、いつでも・どこでも、安全・安心・快適に移動できる持続可能な社会」の実現に向けて、県と市町が連携しながら広域道路ネットワークや公共交通の充実・強化を図っていく。</p> | <p>県土整備部 交通政策課 (交通企画担当) TEL2187</p> |
| 4 | 農業資材高騰への対策について | 建設科 3年生 | <p>親が農業をやっています。農業資材や肥料が高騰しているため、作物を売っても価格が安い分利益が出ないと言っています。栃木県ではこの問題にどんな取り組みをしていますか。</p> | <p>回答者：知事</p> <p>3年目となるコロナ禍に加え、国際情勢や海上運賃の上昇、為替の変動などの様々な影響から、農業資材や燃油、飼料等の価格が高騰し、農業経営を圧迫している。</p> <p>県では、農家の支援のために、相談窓口を設置し、そして燃油や飼料の価格上昇に応じて補填金を交付する事業への加入促進や、燃油等のコスト削減に向けた技術指導等を行っている。</p> <p>また、農業経営への影響を軽減するため、肥料の購入や施設園芸における省エネルギー機器の導入、畜産における飼料の価格高騰分の一部などについて緊急的に支援するとともに、経営が安定していない新規就農者に対して、初期投資の負担軽減を図るためのハウスの整備等への助成を行っている。</p> <p>価格高騰については、今後も不透明な状況が続くと考えられるので、引き続き、生産現場への影響を十分に把握し、市町や農業団体とも連携しながら、農業経営の安定に向けた取り組みを応援していく。</p> | <p>農政部 農政課 (農政戦略推進室) TEL2283</p> |
| 5 | 県内の人口減少対策について | 電子科 3年生 | <p>栃木県の人口が減少していますが、</p> <p>①人口を増加させようと夫婦・カップルに対し、どのような対策を立てていますか。</p> <p>②また、若い人に移住してもらおう施策はありますか。</p> | <p>回答者：知事</p> <p>①人口減少対策について</p> <p>人口減少や少子化の進行は、社会保障制度の存続の危機や地域コミュニティの弱体化など、県民生活全般に大きな影響を及ぼしている。</p> <p>このため、県では、とちぎ子ども・子育て条例に基づく基本計画「とちぎ子ども・子育て支援プラン」に基づき、結婚支援や、妊産婦や子どもの医療費助成、保育施設等の整備や第3子以降の保育料等の減免のほか、若い世代が結婚・出産、子育ての希望を実現できるよう、ライフステージに応じた切れ目のない支援に努め、県を挙げて子ども・子育て支援に取り組んでいる。</p> <p>そのうち、子どもの医療費助成については、子育て家庭の経済的負担の軽減を目的とし、市町が助成する医療費の自己負担額を県が支援をすることで、県市町が一体となって助成している。</p> <p>助成内容は、未就学児は現物給付、小学校6年生までは償還払い方式により無料化しているが、市町によっては対象年齢を18歳まで拡大しているところもある。</p> <p>現在、市町の要望に応じて、県が支援する対象年齢を拡大することで協議を進めているところである。</p> <p>②若い人に移住してもらおう施策について</p> <p>若い方に県外から移住してもらおうための取組として、デジタルマーケティングを活用し、東京圏の若年層をターゲットとしたデジタル広告などの効果的な情報発信や、都内相談窓口「とちぎ暮らし・しごと支援センター」の相談員の増員による体制強化などを行っている。</p> <p>今年度は、転出超過が著しい若い世代の女性の移住促進の取組を強化するため、東京圏在住の若年層や女性等に対し、オンライントークイベントやバーチャル移住体験ツアーの開催、女性・子育て世代向け特設サイトの設置、SNS等での日常生活の継続発信等により、本県とのつながりづくりや県内への就職、移住・定住を促進していくこととしている。</p> | <p>総合政策部 地域振興課 (地域振興・移住促進担当) TEL2236</p> <p>保健福祉部 子ども政策課 (子育て環境づくり推進担当) TEL3068</p> |

| | | | | | |
|---|------------------------------|-------------|---|--|--|
| 6 | SDGsの取組について | 機械科 高校1年 | 今、世界でSDGsに取り組んでいます が、栃木県で最も重要視していることは何 ですか。また、これから取り組んでいきたいことは 何ですか。 | <p>回答者：知事</p> <p>皆さんよく知っているとおり、SDGsは、2015年に国連が定めた、経済、社会、環境に関する世界共通の17の 目標であり、2030年が達成年限とされている。</p> <p>その17番目の目標として「パートナーシップの活性化」が掲げられているとおり、目標の達成のためには、行政、県 民、企業、NPO等、あらゆる主体がSDGsの理念・目標を共有するとともに、連携・協働しながら取組を進めてい かなければならない。</p> <p>このため、県では、これまで、フォーラムや小学生向け講座などによる普及啓発を行うとともに、プラスチックごみ対 策の一層の強化に向けた全国初となる県と全25市町による「栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言」の発出、宇 都宮大学との連携協定の締結やSDGs推進企業の登録制度の創設などの取組を進めてきた。とちぎSDGs推 進企業登録制度では、現在、516者1,474事業所がSDGs推進企業として登録されている。</p> <p>また、昨年4月からスタートした、県が行う仕事の進め方等を示す栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」で は、新たな視点として「SDGs」を取り入れ、プランに掲げる18のプロジェクトを積極的に推進しているところである。 引き続き、地域社会の多様な主体とともにプランに掲げた各種施策を展開し、SDGsの達成に向け、県もしっか り取り組んでいく。</p> | 総合政策部 総合政策課 (政策企画・地方 創生担当) TEL2206 |
| 7 | 県の観光施策及び魅 力度ランキングについ て | 電子科 3年生 | ①栃木県の観光スポットは年齢層が高いイ メージがあるが、若い人が来るような施策は おこなっていますか。 ②また、魅力度が毎年低いことについてどう 思いますか。 | <p>回答者：知事</p> <p>①若い人が来るような施策について</p> <p>県が昨年度実施した観光客調査の結果では、日帰り客の年代は、男性の60代以上が25.4%で最も多く、 女性は10・20代が21.5%で最も多かった。また、宿泊客についても、男性は60代が25.3%、女性は10・20代 が28.8%で最も多く、これらのデータから、高齢層だけでなく、若い世代の女性も大きな割合を占めていることが分 かる。</p> <p>本県では、さらに若い世代の誘客を強化するために、デジタルプロモーションに取り組んでいるところであり、インス タグラムにおいては、「本物の出会い栃木」というアカウントで、主なターゲットである20～30代の若者に対し、「まだ まだ知られていない、栃木県の新たな魅力」をコンセプトに、観光スポットやグルメ情報を発信している。</p> <p>加えて、本県が話題性の高い映画やドラマのロケ地となることで、作品を通じて若者等に本県の魅力を発信し、 観光誘客や地域活性化につなげるため、フィルムコミッション事業においてロケ地の撮影支援や誘致にも取り組ん でいる。最近では、日本テレビで放送された今田美桜さん主演の「悪女（わる）」において栃木県庁がロケ地と して使われたほか、現在放送中のNHK連続テレビ小説「ちむどん」においては、大田原市の廃校となった小学 校がロケ地となっている。その他にも、密を避けたアウトドアアクティビティなど体験型の観光商品を造成し、大手予 約サイトと連携した効果的なPRと販売を行っている。</p> <p>今後も、若い皆さんのアイデアを参考にしながら、本県の観光振興に取り組んでいくため、沢山のご意見等をお 寄せいただきたい。</p> <p>②魅力度ランキングが低いことについて</p> <p>栃木県には、他県にはない良さがたくさんあり、日光や那須の豊かな自然、世界遺産「日光の社寺」に代表され る優れた歴史・文化、生産量53年連続日本一のいちご、宇都宮の餃子など、魅力あふれる県である。</p> <p>高校を卒業し、新しい世界に踏み出される過程で、ふるさと栃木の良いところ、悪いところも含めて色々気づく ことがあるかと思うが、皆さんに願いたいことは、ふるさと栃木の良いところを、自信と誇りを持って広めていただ きたい。</p> <p>魅力度を高めていくため、私も全国の方々に栃木県の魅力を発信し、一人でも多くの栃木ファンを獲得すべく取 組んでいく。</p> | 産業労働観光部 観光交流課 (観光地づくり担当) TEL3210 総合政策部 デジタル戦略課 (ブランディング推進 室) TEL2825 |

| | | | | | |
|----|--------------------|------------|--|---|---|
| 11 | 栃木県の産業技術について | 電子科 2年生 | 県が目標とする産業技術はどのようなものですか。 また、栃木県には何か最新の技術はありますか。 | <p>回答者：知事</p> <p>本県は、製造業における多様な業種がバランスよく集積し、第2次産業の占める割合が全国2位の有力なもののづくり県である。</p> <p>今後のものづくり企業の成長を加速させる技術として、「AI・IoT・ロボット技術」、「光学技術」、「環境・新素材技術」を「未来3技術」と位置付け、県内企業や大学、県庁、金融機関が連携した協議会「とちぎ未来技術フォーラム」を設置し、ネットワークの形成や企業の研究開発等の支援を行っている。昨年5月に「とちぎ未来技術フォーラム」を立ち上げて以来、会員数は335（R4.5.31現在）となっている。</p> <p>そのほか、この「未来3技術」を県が重点的に支援している「自動車産業」、「航空宇宙産業」、「医療福祉機器産業」等へ活用することを促進している。</p> <p>また、県内には、優れた技術を有し、これを活用した製品で世界トップクラスのシェアを獲得し、本県の製造業をリードしている企業が多数あるのでいくつか紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デクセリアルズ（下野市） ディスプレイに用いられる反射防止フィルムを製造する技術（世界シェア1位） ・キヤノン（宇都宮市） 半導体の製造に必要な露光装置を製造する技術（世界シェア2位） ・ファナック（壬生町） 工場の自動化を図る産業用ロボットを手がける（世界シェアトップクラス） ・ナカニシ（鹿沼市） 超高速回転技術をコアに歯科用治療器具を製造する（世界シェアトップクラス） ・マニー（宇都宮市） 手術用縫合針や眼科ナイフなどを扱う（世界シェアトップクラス） | 産業労働観光部 工業振興課 (ものづくり企業支援室) TEL3192 |
| 12 | 今の高校生にしてほしいこと等について | 電子課 2年生 | 今の高校生にどんなことをしてほしいですか。 また、高校生活で一番心がけていたことを教えてください。 | <p>回答者：知事</p> <p>高校の3年間はあっという間に過ぎてしまう。その中で、一般教養、各専門科目の技術をしっかり学び、部活動・サークル活動・研究会活動も一生懸命やってほしい。</p> <p>学ぶことと併せて、学校でチャンスがあれば、自分が学んでいることを活かしている企業などの職場見学・職場研修に積極的に出向き、その企業の雰囲気・現場等を見てきてもらいたい。また、ボランティア活動にも積極的に取り組んでもらいたい。</p> <p>そのうえで、友人をたくさんつってほしい。私が一番友人が多いのも高校時代である。</p> <p>こういったことは全て健康づくり、体力向上づくりに結びついていく。大人になっても健康で、社会人としての生活が送れるような準備を高校3年間でしてもらいたい。その後、大学に行く人はしっかり勉強し、就職する人はこれまでの経験を活かして能力を発揮してほしい。ぜひ思い出の多い、充実した高校生活となるよう、これからの活躍を心から願っている。</p> | - |

※関係課名（担当）欄のTEL番号は、栃木県庁028-623-各課共通(4ケタ番号)を記載しています。